

国籍・年齢	フランス人女性 40 代前半	言語	フランス語・英語
来日時期	1997 年～（一時帰国あり）	職業	ジャーナリスト
家庭	日本人の夫（漫画家）、4 歳の息子		
言語環境	家庭内はフランス語、職場ではフランス語、英語、日本語。取材やインタビュー、講演会、テレビ出演で日本語を話す。		
趣味・興味	時事問題、政治経済、子育て、日本の政治家、著名人について		
性格	明るく楽観的、学習に対する意欲が高い		
学習目的	大勢の前で引け目を感じずに発話したい。（記者会見で堂々と質問したい、コメンテーターとして安定した日本語を話したい。）記者会見の内容を正しく理解し的外れな質問を避けたい。テレビ出演時の緊張を減らしたい。ママ友とカジュアルな会話がしたい		
レベル	テレビや新聞の内容が問題なく理解できる。独学で学んできたため基礎がなく、化石化した誤用が多い。フォーマルな場面での会話に慣れ過ぎていて、カジュアルダウンすることができない。		
所有教科書	なし	学習ペース	60 分/週
長期到達目標	誰を相手にしても、引け目を感じることなく安定した日本語が話せるようになる。 場面や話す相手に応じて丁寧度をコントロールする。 発音を正す。		
短期目標 (8 回終了時)	慣用句、四字熟語 各 7 つ、文法 (N1、N2 レベル) 5 つ覚える。 コメンテーターとして決められた時間内で意見が言えるようになる。 気持ちや状況を一言で表現できる慣用句や四字熟語を主に導入し、どんな話題でも制限時間内(2 分)で意見がまとめられる。		
レッスン内容	コメンテーターとしての発話場面を想定し、ニュースや記事を見せて意見を言わせる。時間を計り、発話は録音する。 【聞く】 時事問題を取り扱う番組を見せ、コメンテーターの発言内容を理解する→メモを取りながら（取材時と同じ状況を作る） 【話す】 番組を見たうえで自分の意見を言わせる。話すときは「意見→理由→例え→意見」の順で話すように指導。 【読む】宿題でニュースや記事などを読ませる。わからない語彙や表現は授業で確認。		
宿題・テスト	8 回目のレッスンでまとめのテスト		
準備したこと	NHK アナウンサーの話し方の本		